

Yasuhito Mori

Scandinavian Japan

Connection

Since 1994

Produced by

Mori Music KB / Scandinavian Japan Music Exchange Association

森 泰人 スカンジナビアン/ジャパン・コネクション
企画・制作:Mori Music KB(Sweden)/北欧音楽交流協会(Japan)

ジャズはもちろんアメリカが故国ですが、現在のジャズはクラシック音楽と同等の芸術性と国際性を併せ持った音楽芸術の一形態として、世界に定着しております。その意味で北欧のジャズは世界的に観てもトップクラスの水準にあり、日本においても愛好家が多く盛んに演奏され、近年は北欧に留学する演奏者も多いようです。しかしながら、北欧の演奏家を日本に、日本の演奏家を北欧に招こうとしても、それぞれの『ジャズの実力』が一般的に知られていないため、演奏の機会を得ることが難しいのが実情です。スウェーデン産のポップミュージックは日本でもかなり人気がある様ですが、まだまだ北欧と日本の距離は遠く離れていると痛感しています。

その日本と北欧を結ぶ文化交流として、これまで商業的にも難しく紹介される機会の少なかったジャズ・合唱音楽等を中心に、その交流をより盛んにすることを目的として『森泰人、スカンジナビアン/ジャパン・コネクション』を始めました。この演奏家の発意「音楽のかけ橋」は、各地の音楽愛好家たちの好意「草の根運動」的に支えられて演奏活動を展開、十年余り続けています。

その場は音楽祭やコンサートにとどまらず、大学生ビッグバンドや数百名の中学生楽団へのレクチャーも積極的に行うなど、教育現場や姉妹都市交流にも大きな功績をあげています。

かけ橋を造るには、どこからかでも建造を始めない事には、いつまでたっても橋は掛からないと思います。『森 泰人 スカンジナビアン/ジャパン・コネクション』は、このかけ橋建造にいくらかでも貢献し、人々の豊かな生活の糧になればと願っております。

スウェーデン イェーテボリ在住 森 泰人

<< 活動実績 >>

- 1) 1994年9月 第1回ジャパン・コネクション / 北村英治、渡辺毅
日本を代表するクラリネット奏者、北村英治とドラム奏者、渡辺毅をスウェーデンに招きコンサート。
- 2) 1994年11月 第1回スκανジナビアン・コネクション / ラーシュ・ヤンソン
北欧を代表するピアニスト・作曲家であるラーシュ・ヤンソンを伴い、東京、名古屋、京都でコンサート。
後援: 日本ネオ・トロピカル協会、新高輪プリンスホテル
- 3) 1995年2月 第2回ジャパン・コネクション / ウォン・ウィン・ツァン
ピアニスト・作編曲家、ウォン・ウィン・ツァンは日本を代表するニューエイジの旗手。彼を北欧に招き、森とアンダーシュ・ハーグベリのデュオグループ『ウィンデュオ』とコンサートツアー&レコーディング。
- 4) 1996年10月 第3回ジャパン・コネクション / ウォン・ウィン・ツァン
スウェーデンにて、ウォン・ウィンツァンとウィンデュオのCD『イースト・ウィンド』発売記念ツアー。
- 5) 1997年1月 第2回スκανジナビアン・コネクション / アンダーシュ・ハーグベリ
スウェーデン外務省の要請により、スウェーデンのジャズグループ『ウィンデュオ』で、札幌市に於ける「バイキング展」の開催式にてコンサート及びツアー。協力: 日本航空 後援: スウェーデン政府、在日スウェーデン大使館。
- 6) 1997年3月 第4回ジャパン・コネクション / 高瀬アキ、アンダーシュ・シェルベリ
ベルリン在住の女性ジャズピアニスト、高瀬アキとスウェーデン人ドラム奏者、アンダーシュ・シェルベリとのトリオでスウェーデン・ツアー。
- 7) 1997年11月 第3回スκανジナビアン・コネクション / アンダーシュ・パーション トリオ
スウェーデンを代表するピアノ奏者、アンダーシュ・パーション、ドラム奏者、グヌス・グラーンを伴って日本ツアー。協力: 日本航空 後援: スウェーデン文化省、在日スウェーデン大使館
- 8) 1998年11月 第4回スκανジナビアン・コネクション
/ エーヴァン・スヴェンソン トリオ + ウルフ・アンダーソン + オーベ・インゲマルソン
スウェーデンを代表するギター奏者、エーヴァン・スヴェンソン。永年スウェーデンのジャズ界の重鎮として活躍しているサクソ奏者、ウルフ・アンダーソン。若手実力派サクソ奏者、オーベ・インゲマルソン。ドラム奏者、グヌス・グラーンを伴っての日本ツアー。協力: 全日空、Vestax Corp.、Gramco
後援: スウェーデン文化省、在日スウェーデン大使館
- 9) 1999年5月 第5回スκανジナビアン・コネクション / ラーシュ・ヤンソン トリオ
日本でも全国的にファンの多い、北欧を代表するピアノ奏者、ラーシュ・ヤンソン、高い音楽性とダイナミックな演奏でスウェーデンで最も人気の高いドラム奏者、アンダーシュ・シェルベリとの日本ツアー。
協力: 全日空、Vestax Corp.、Gramco 後援: スウェーデン文化省、在日スウェーデン大使館
- 10) 1999年10月 第5回ジャパン・コネクション / 伊藤君子、高瀬アキ

ペコの愛称で親しまれ国際的なキャリアの持つ、日本を代表するジャズボーカリスト伊藤君子。
また、ベルリン在住、欧州で大活躍のピアノ奏者、高瀬アキとスウェーデンツアー。協力:全日空、
Vestax Corp.、Gramco 後援:国際交流基金

11)1999年11月 第6回スカンジナビアン・コネクション

／ アンダーシュ・パーション トリオ + トーマス・グスタフソン、リーナ・ニーベリ

97年来日で日本のジャズピアノファンの間でも知られる存在となったアンダーシュ・パーション・トリオに加え、北欧のジャズ界のカルト的存在で在るサクソ奏者、トーマス・グスタフソン。素晴らしい歌唱力と高い音楽性で現在スウェーデンで最も高く評価されているジャズボーカリスト兼作曲家のリーナ・ニーベリを伴い日本ツアー。協力:全日空、Vestax Corp.、Gramco 後援:スウェーデン文化省

12)2000年5月 第7回スカンジナビアン・コネクション

／ ラーシュ・ヤンソン トリオ

日本でも全国的に人気の北欧を代表するピアノ奏者、ラーシュ・ヤンソン。ドラム奏者、アンダーシュ・シェルベリの再来日ツアー。協力:全日空、Vestax Corp.、Gramco 後援:スウェーデン文化省

13)2000年9月 第8回スカンジナビアン・コネクション

／ ジャネット・リンドストウルム

スウェーデンの女性ヴォーカル、ジャネット・リンドストウルムと現在、ストックホルムを中心に活躍する若手演奏家を伴い日本ツアー。オリヤン・フルテーン(sa)、ペーター・ニランデル(g)、ヨナス・ホルゲルソン(dr)。協力:全日空、Vestax Corp.、Gramco 後援:スウェーデン文化省

14)2000年11月 第9回スカンジナビアン・コネクション

／ カタリーン・マッズセン、ヤコブ・カールソン、スタファン・ウィリアム・オルソン

デンマークから歌手、カタリーン・マッズセン、ノルウェーからギター奏者、スタファン・ウィリアム・オルソン、若手ドラマーの新星、ホーコン・ミューセッ・ヨハンセン、そして、今やスウェーデンを代表する若手ピアニスト、ヤコブ・カールソンと北欧3カ国からトップメンバーを集めて日本ツアー。協力:全日空、後援:ノルウェー文化省

15)2001年5月 第10回スカンジナビアン・コネクション

／ ラーシュ・ヤンソン トリオ

北欧を代表するピアノ奏者、ラーシュ・ヤンソン。ドラム奏者、アンダーシュ・シェルベリとの日本ツアー。東京・南青山のジャズクラブ“Body & Soul”にて、第10回『スカンジナビアン・コネクション』を記念してライブ録音。協力:全日空、ソニー株式会社、Vestax Corp.、Gramco 後援:スウェーデン文化省

16)2001年8月 第6回ジャパン・コネクション

／ Modern Musik I Japan

歌手、おおたか静流。ウォン・ウィンツァン、市原康、森泰人のトリオ“WIM”、フルート奏者、中川昌巳と25弦琴奏者、中川果林等によるNakagawa Groupでのスウェーデン・ツアー。

17)2001年10月 第11回スカンジナビアン・コネクション

／ Bohuslän Big Band (ボーヒュスレーン・ビッグバンド) + ラーシュ・ヤンソン

ボーヒュスレーン・ビッグバンドの中国・日本ツアー。日本公演にはピアニスト、ラーシュ・ヤンソンを招き各地でコンサートやレクチャーを行う。協力:スカンジナビアン航空、Vestax Corp.、Gramco 後援:スウェーデン文化省、スウェディッシュ・インスティテュート、イエーテボリ市、西ヨータ県

18) 2002年5月 第12回スカンジナビアン・コネクション / プッテ・ヴィックマン、ウルフ・ワケーニウス
スウェーデン音楽界の文字通りの御大、クラリネット奏者、プッテ・ヴィックマン。オスカー・ピーターソン・カルテットのメンバーとして活躍中のギター奏者、ウルフ・ワケーニウス等を伴って、クインテットで日本ツアー。協力:全日空、Vestax Corp.、Gramco 後援:スウェーデン文化省

19) 2002年8月 第13回スカンジナビアン・コネクション / オーベ・インゲマールソン カルテット
ラーシュ・ヤンソン、アンダーシュ・シェルベリ、森泰人のトリオに、テナーサックス奏者、オーベ・インゲマールソンをフューチャーしたカルテットでのツアー。東京・南青山の「Body & Soul」でのライブは、スカンジナビアン・コネクション・レーベルより第4作目「New Blues」として2003年度作品としてリリース。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

20) 2002年11月 第14回スカンジナビアン・コネクション / ラーシュ・ヤンソン トリオ
ラーシュ・ヤンソン、アンダーシュ・シェルベリ、森泰人の第10回スカンジナビアン・コネクション、ライブ録音CD「At Ease」発売記念コンサート。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

21) 2003年6月 第15回スカンジナビアン・コネクション / ウルフ・ワケーニウス グループ
スウェーデンの誇る国際的ギター奏者、ウルフ・ワケーニウスをフューチャーし、デンマークを代表するピアニスト、カーシュテン・ダール。若手天才ドラム奏者、モーテン・ルンドとのCD「Tokyo Blue」発売記念コンサート。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

22) 2003年8月 第16回スカンジナビアン・コネクション / マイク・デル・フェロー トリオ
2002年のトゥーツ・シールマンスとのイタリアツアーで出逢ったオランダのピアニスト、マイク・デル・フェロー。彼とはアメリカン・ボイスの活動にて世界各地で演奏を行ってきた。素晴らしいハーモニーのセンスを持ったマイクの日本デビュー・ツアー。ドラムスはセバスティアン・カプテーン。協力:全日空

23) 2003年9月 第17回スカンジナビアン・コネクション / オーベ・インゲマールソン カルテット
スウェーデンのテナーサックスの名手、オーベ・インゲマールソンにラーシュ・ヤンソン、アンダーシュ・シェルベリ、森泰人のトリオが加わったカルテット。「Body & Soul」にてのライブ録音盤「New Blues」発売記念ツアー。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

24) 2003年10月 第18回スカンジナビアン・コネクション
/ ボーヒュスレーン・ビッグバンド + ラーシュ・ヤンソン + カタリーン・マッズセン
ボーヒュスレーン・ビッグバンドの第2回目の日本ツアー。デンマークの歌手、カタリーン・マッズセンと、ラーシュ・ヤンソンを伴い、ラーシュの新作「Temenos」発表も兼ねたツアー。岡崎市とウデバラ市との交流では、約400人の中学生へのレクチャー及びコンサート。東京・赤坂の「B-flat」では、大学生バンドを中心としたアマチュアにクリニックを行い好評を得た。横浜ジャズプロムナードをはじめ、浜松など各地で大成功をおさめる。後援:在日スウェーデン大使館、岡崎市、ウデバラ市、協力:全日空

25) 2004年5月 第19回スカンジナビアン・コネクション
/ ホッド・オブライアン & アンダーシュ・シェルベリ
90年代初頭、森がレッド・ミッチェルの代役を勤めた際、ピアニスト、Hod O'Brien (ホッド・オブライアン)と出逢う。2003年夏、森が国際ベーシスト協会のコンベンションに招かれた事がきっかけとなり、

バージニアにて再会。2004年1月スウェーデンにて、アンダーシュ・シェルベリとのトリオで録音。同年4月CD「ファンファーレ」発表。発売記念日本ツアー。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

26) 2004年11月 第20回スカンジナビアン・コネクション / ラーシュ・ヤンソン トリオ
第20回、10周年を記念してスカンジナビアン・コネクションの原点。恒例となったラーシュ・ヤンソン、アンダーシュ・シェルベリ、森泰人のツアー。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

27) 2005年2月 第21回スカンジナビアン・コネクション / ホッド・オブライアン・トリオ
バップピアノの名手、ホッド・オブライアンが好評につき再来日。ドラム奏者のトミー・キャンベルと、コントラバス奏者の鈴木良雄のトリオでのツアー。後援:在日スウェーデン大使館

28) 2005年3月 第22回スカンジナビアン・コネクション / ヨーハン・ボリストウルム 森泰人 デュオ
ボーヒュスレーン・ビッグバンドのアルトサクソフ奏者で自己のグループでも欧州各地で活躍している、ヨーハン・ボリストウルム。森泰人のコントラバスとのデュオでの日本ツアー。日本在住のピアニスト、作編曲家、ウォン・ウィン・ツァンをゲストに迎える。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

29) 2005年5月 第23回スカンジナビアン・コネクション / ロニー・ヨハンソン トリオ
19歳でエリック・ドルフィーとの共演でデビューし、イエーテボリ音大で教鞭を取り、多くの演奏家を育ててきたピアニスト、ロニー・ヨハンソン。ドラム奏者、レイモンド・カールソンとの初来日。後援:スウェーデン大使館、協力:全日空

30) 2005年6月 第6回ジャパン・コネクション / 鈴木良雄 & Bass Talk
日本が世界に誇るベース奏者・作曲家、鈴木良雄が率いるグループ『Bass Talk』。初のスウェーデンツアー。後援:国際交流基金、文化庁、EU Japan People to People 協力:在エストニア日本大使館

31) 2005年7月 北欧音楽祭視察ツアー (Bohuslän Big Band + Lars Jansson + Lew Soloff)
スカンジナビアン・コネクションの招聘元である北欧音楽交流協会、日本ツアーにおける各地のコンサート主催者、若手音楽家を迎えて、スウェーデン各地の音楽祭やコペンハーゲンジャズフェスティバルを視察。(ボーヒュスレーン・ビッグバンド、ラーシュ・ヤンソン、ルー・ソロフの北欧ツアーに同行)

32) 2005年10月 第24回スカンジナビアン・コネクション / リーナ・ニーベリ A Song Book Trio
スウェーデンの歌姫、リーナ・ニーベリ。欧州にて活躍するピアニスト、アンダーシュ・パーション。コントラバス森泰人による「A Song Book Trio」。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空

33) 2005年12月 第25回スカンジナビアン・コネクション / ラーシュ・ヤンソン トリオ
スカンジナビアン・コネクションの10年を超える積み重ねにより、各地からオファーをいただけるようになったラーシュ・ヤンソン、アンダーシュ・シェルベリ、森泰人のトリオ。北海道から九州までの日本縦断ツアー。後援:在日スウェーデン大使館、協力:全日空、アジア・コネクション

34) 2006年1月 第26回スカンジナビアン・コネクション / スヴェン・エリック・ダールベリ
イエーテボリ・ジャズ協会会長を務め、イエーテボリ・コンサートハウスの企画制作やイエーテボリ音大でも教鞭を取るピアニスト、作編曲家、スヴェン・エリック・ダールベリ。スウェーデンを代表する女性歌

手、故 Sonya Hedenbratt と長年活動を共にし、自己のアルバムを含め多くの録音がある。今回の日本ツアーでは十二年ぶりに、第1回ジャパン・コネクションにて共演したクラリネット奏者、北村英治やドラム奏者、渡辺毅らと再演。

35) 2006年1月 第8回ジャパン・コネクション / Kokopelli

現代日本の若手を代表するジャズ・ピアニスト林正樹、ベテラン歌手さがゆきからなるデュオ。ストックホルムでのライブとイエーテボリのスタジオで録音。

36) 2006年5月 第27回スκανジナビアン・コネクション

/ エーヴァン・スヴェンソン グループ feat. リンダ・ペーターソン & アントワーン・エルヴェー
スウェーデン屈指のギターリスト、エーヴァン・スヴェンソンがフランスの多才なピアニスト、アントワーン・エルヴェーを迎え、ドラム奏者、マグヌス・グランとカルテットを結成。美しく可憐な北欧の実力派歌手、リンダ・ペーターソンと共に、スウェーデンやフランスをツアー。CD "Light and shade"を発売し、絶賛される。その豪華メンバーでの日本ツアー。後援: 在日スウェーデン大使館、協力: 全日空

37) 2006年6月 第9回ジャパン・コネクション

/ 川崎瞭、Brian Melvin、森 泰人

ニューヨークでエルビン・ジョーンズ、ギル・エバンスとの活躍で知られる日本人ギター奏者、川崎瞭。ジャコとの共演等で知られる米人ドラマー、Brian Melvin をイエーテボリのリザベリ遊園地のジャズ・シリーズに迎えてのコンサート。

38) 2006年9月 第28回スκανジナビアン・コネクション

/ マイク・デル・フェロー トリオ

オランダのピアノ奏者、マイク・デル・フェロー。クラシックの血統を受継いだセンスで世界にて活躍。ドラムスはセバスティアン・カプテーン。2回目の日本ツアー。協賛: オランダ王国大使館、協力: アメリカ大使館、全日空、後援: 在日スウェーデン大使館

39) 2007年3月 第29回スκανジナビアン・コネクション

/ ギーネ・ガウスタード・アンデルセン・アンダーシュ・パーション・森 泰人

ノルウェーの若き歌姫、ギーネ・ガウスタード・アンデルセンの初来日。欧州にて活躍するピアニスト、アンダーシュ・パーション。コントラバス森泰人によるツアー。後援: 在日スウェーデン大使館

40) 2007年8月 第30回スκανジナビアン・コネクション

/ トミー・コッテル トリオ

ボーヒスレーン・ビッグバンドのピアニスト、トミー・コッテル。北欧の四季を織り込んだオリジナリティ溢れるメロディと繊細なタッチが好評。トリオ初の来日ツアー。後援: 在日スウェーデン大使館

41) 2007年9月 第31回スκανジナビアン・コネクション

/ マイク・デル・フェロー トリオ

オランダのピアノ奏者、マイク・デル・フェロー。クラシックの血統を受継いだセンスで世界にて活躍。ドラムスはセバスティアン・カプテーン。3回目の日本ツアー。後援: 在日スウェーデン大使館

42) 2007年11月 第32回スκανジナビアン・コネクション

/ ラーシュ・ヤンソン トリオ

スκανジナビアン・コネクションの10年を超える積み重ねにより、各地からオファーをいただけるようになったラーシュ・ヤンソン、アンダーシュ・シェルベリ、森泰人のトリオ。後援: 在日スウェーデン大使館